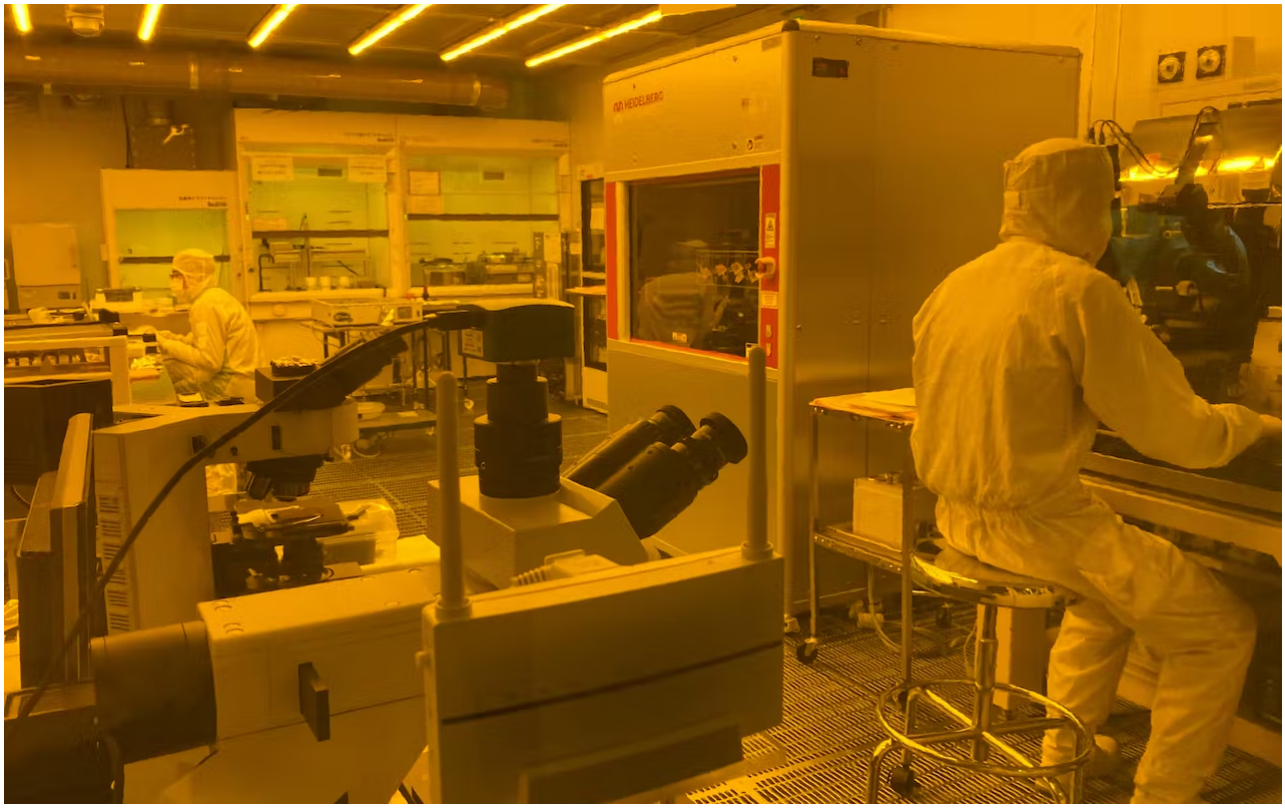
ダイヤモンド半導体を設計・開発　早大発スタートアップ

2022/11/2 0:00 | 日本経済新聞　電子版



ダイヤモンド半導体はインバーターなどの小型化や消費電力削減につながる

早稲田大学発のパワーダイヤモンドシステムズ（東京・新宿）は、基板に人工ダイヤモンドを使うダイヤモンド半導体の設計・開発に乗り出す。シリコン製に比べて耐久性や動作速度を向上し、電気自動車（EV）に搭載するインバーター（電力変換器）などの小型化や消費電力削減につなげる。試作品の製造などに充てるため、ベンチャーキャピタル（VC）の早稲田大学ベンチャーズ（WUV）を引受先とする第三者割当増資で1億円を調達した。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.